

重要課題・方策・KPI

重要課題（マテリアリティ）		方策	項目	2022年度実績	2023年度実績	2024年度実績	2025年度実績	2030年度目標
持続可能で豊かな未来の創造*6	環境配慮型社会の実現	資源循環性の高い製品の普及 CO2排出量を低減させる製品の普及 プラスチックの新しい価値の提供と サーキュラーエコノミーの実現	資源循環性の高い包装材製品の売上比率（医薬品用を除く）	25.0%	29.0%		26.7%	40.0%
			つめかえパウチ出荷量 2022年度比	—	83.0%	87.0%	89.0%	150.0%
			バイオマス素材/リサイクル素材関連製品の開発（2023～2030年度累計）	—	累計2件	累計4件	累計7件	累計20件
	快適で豊かな社会の実現	スマート社会の実現 健康長寿社会の実現 快適な空間の創造	次世代型エネルギー・電子・通信関連事業 売上高2022年度比 医療・ヘルスケア関連事業の展開国数 土木事業ICT機器の活用件数	— 展開準備中*1 累計50件	82.0% 累計6カ国 累計130件	105.6% 累計7カ国 累計213件	135.0% 累計16カ国 累計310件	300.0% 累計30カ国 累計500件
環境負荷の最小化	低炭素社会の実現	省エネルギーと創エネルギー	二酸化炭素排出量 50%削減（2014年度比・総排出量 ※Scope1-2） エネルギー使用量の削減 30%削減（2023年度比・原単位・使用量/付加価値）	93.0%	98.9%	101.8%	94.8%	50.0%
	循環型社会の実現	廃棄物の発生抑制とリサイクル	廃棄物排出量 30%削減（2014年比・原単位・排出量/付加価値）	149.8%	116.4%	86.0%	74.7%	70.0%
	自然共生社会の実現	有機溶剤使用量の削減と低有機溶剤の加工技術/製品設計	有機溶剤使用量 30%削減（2014年比・原単位・排出量/付加価値）	98.6%	106.05%	103.1%	95.9%	70.0%
多彩な人財の活躍と育成	人財育成と働きがいの実現	キャリア支援 ジョブローテーションと早期マネジメント任用 目的別・階層別研修	従業員エンゲージメントスコア*2	3.31/5.00	3.19/5.00	3.23/5.00	3.25/5.00	3.80/5.00
			一人当たり教育研修費	55,000円	58,000円	63,000円	68,945円	140,000円
	多彩な人財の活躍	多様な人財の採用 多様な働き方と職場環境の整備 多様な人材の積極的登用	女性管理職比率*3	8.3%	8.5%	7.8%	8.1%	25.0%
			女性従業員比率	17.7%	18.7%	19.9%	20.0%	30.0%
			障がい者雇用率	2.4%	2.4%	2.6%	2.8%	3.0%
	社員の心と身体の健康づくり	生産性の向上 職場・個人へのフォロー 安全安心な職場づくり	男性育休取得率	26.3%	44.8%	40.0%	67.7%	85.0%
有休取得率			67.7%	72.7%	67.8%	70.2%	80.0%	
持続的な成長のための組織基盤の強化	経営の透明性の向上と 企業価値の最大化	コーポレート・ガバナンスの充実 ガバナンス体制およびリスク管理体制の強化 コーポレートガバナンス報告書	平均残業時間	23.6時間/月	22.9時間/月	24.9時間/月	22.1時間/月	15.0時間/月
			労働災害発生数*4	17件	19件	5件	16件	0件
			コンプライアンス研修受講率	93.6%	81.5%	92.1%	100%	100%
			重大なコンプライアンス違反の発生件数*5	0件	0件	0件	0件	0件

*1 複数国で登録済み、臨床試験棟を実施中

*2 年1回実施している人事アンケートにエンゲージメント関連項目を設けて測定

*3 課長補佐級を含むマネジメントの立場にあるものを管理職としてカウントして算出

*4 軽微なもの、通勤災害を除く

*5 各国競争法、腐敗に関する法令、社会経済分野に関する法令等の重大な違反

*6 2022年度～2024年度実績は提出会社、2030年度目標は連結で記載

【持続可能で豊かな未来の創造】

ソリューション創造活動を通じた社会的価値の提供は着実に進展している一方、市場・環境が大きく変化しています。これに柔軟に対応すべく中期経営計画を策定しており、KPIについても中期経営計画と連動する形で再設計を図ります。引き続き、社会全体への価値貢献と当社の競争力強化に向けて取り組んでまいります。

【環境負荷の最小化】

環境負荷の最小化は、事業成長と両立させるべき最重要テーマです。生産規模の拡大局面において、CO2排出量削減・有機溶剤使用量削減ともに2030年目標達成に向けて削減施策を加速します。CO2については、事業拡大に伴う増加要因を踏まえつつ、非化石証書の活用を含めたグリーン電力の導入を推進し、2030年度に50%削減を達成します。有機溶剤については、回収・再利用プロセスの検証・技術確立を進め、その成果を既存拠点へ順次展開してまいります。生産体制の拡充と環境施策を両立し、2030年目標の達成に向けた歩みを加速してまいります。

【多彩な人財の活躍と育成】

当社グループは、従業員一人ひとりを「人財」と位置づけ、中期経営計画で掲げる「ソリューション創造」「カスタムものづくり」「グローバル展開」を牽引する人財の育成に注力しています。女性活躍に加え、外国籍・キャリア入社・障がい者を含む多様な人財の活躍環境を整備するとともに、心身の健康・対話・処遇を一体化したエンゲージメントの向上に取り組めます。全従業員が能力を最大限発揮し、新たな価値創造に挑戦できる組織づくりを進めてまいります。

【組織基盤の強化】

コンプライアンス研修受講率100%、重大な法令違反0件を継続するなど、コンプライアンス基盤は着実に運用されています。事業のグローバル展開の加速を踏まえ、海外子会社を含むグループ全体でのガバナンス体制のさらなる強化を推進してまいります。